

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	
登録診療科	内科	申請医師	
レジメン名	PTX+CBDCA(weekly)+RT		
疾患名	非小細胞肺癌		
適応分類	放射線療法(～60Gy)と併用する。		
1コース日数	7	日間	総コース数
コース 催吐性リスク 中等度			

抗がん剤投与量・投与日 || パクリタキセル40mg/m² day1、カルボプラチン2AUC/body day1
 治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7								
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●														
	点滴静注	プロイメント注150mg	1 本 / body	30分	●														
2	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●														
	点滴静注		/																
3	主ルート	グラニセトロン注ハッグ1mg/50mL	1 本 / body		●														
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30分	●														
		ファモチジン注20mg	1 本 / body		●														
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●														
	点滴静注	パクリタキセル注	40 mg / m ²	60分	●														
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●														
	点滴静注	カルボプラチン注	2 AUC / body	60分	●														
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●														
	点滴静注		/																
7			レスタミンコーワ錠	5 錠 / body		●													
	経口投与			/															

【投与上の注意】
 ・プロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
 ・プロイメントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
 ・プロイメントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
 ・パクリタキセル使用時にプロイメントを使用する場合は、デキサメタゾン8mg投与することが必要である。
 パクリタキセル:前投薬としてレスタミン5錠の内服、デキサート注、ファモチジン20mg静注が必要。
 パクリタキセル:DEHPフリー(フィルターつき)点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。
 パクリタキセル:アルコール不耐症がないことを確認する。
 必要に応じて、生食50mLをソリューゲンF500mL 1～2本に変更する。

